

令和8年度事業計画書(令和8年5月1日～令和9年4月30日)

(敬称略)

《事業の概要》

写真を通じて、日本文化の進展に寄与することを目的に、令和8年度は下記の事業を実施する

《中長期戦略企画室》

1. 日本写真会館・建替え実現に向けて、
 - ① スターツ・グループと綿密に連携し、令和8年6月15日迄に解体工事を完了、土地信託契約書等を締結し、6月15日以降、スムーズに建築工事を開始
 - ② 当協会使用予定の2階スペースに関して、事務所、ギャラリー、会議室、資料室、倉庫のレイアウトを確定し、設置する備品等の準備促進
 - ③ 建築工期中(～令和9年秋)、竣工後(令和9年秋～)における想定収支ベースに沿った事業計画の継続的な検討・調整
2. 日本写真会館・竣工後に向けた、「当協会の方向性(未来像)」構築の協議を継続推進

《総務部》

1. 第80回定時会員総会・北海道大会の円滑な運営推進
2. 全国ブロック、都道府県との情報共有化を始めとする連携強化のため、オンライン合同会議開催(これまでは1回/年、12月、相対での会議開催であったが、同会議を含め、2回/年以上の開催)
3. 令和8年度功労者(写真を通じて社会に貢献、もしくは写真芸術の発展に功績のあった個人及び団体)の選考と表彰
4. 日本写真館協会との事業連携(アライアンス)の検討とその具体化
5. 日本写真著作権協会(JPCA)との連携強化による、会員への写真著作権思想の更なる浸透と附番される著作権者ID番号の有効活用を促進
6. 国際交流活動の推進
 - ① PPJの、円滑な活動に向けた体制の見直し
 - ② WPC2026入賞作品展の開催
 - ③ WPC2027応募促進及び入賞に向けた活動強化：入賞作品展開催による認知度向上と応募促進
7. 中長期戦略企画室、財務部と連携して、経費削減のための協議を推進
8. 日本写真会館竣工に向けて、寄付支援の仕組み等を具体化し、会員への提案実施を推進

《財務部》

1. 令和8年度予算の遂行管理の徹底
 - ・ 事業実施状況を確認し、各部予算の的確な使用を促進
2. 日本写真会館・建替え工期中及び竣工後に向けた、中期的な予算設定の考え方を策定
3. 上記2の中期的な予算設定の考え方にもとづき、令和9年度収支予算を策定

《文化部》

1. 全国展フォトコンテストの実施
 - ① 第72回全国展フォトコンテスト表彰式・入賞入選写真展実施
 - ・ 表彰式：令和8年5月28日(木)、東京都美術館(東京・上野)予定
 - ・ 写真展：東京都美術館(上野) 令和8年5月28日(木)～6月4日(木)
 - 富士フィルムフォトサロン大阪 令和8年9月25日(金)～10月1日(木)
 - 文協コーナーにて「2026ブロック選抜展」を併催
 - ・ 第72回全国展フォトコンテスト入賞入選作品集は、「写真文化」夏号と併せて、全会員に配布
 - ② 第73回全国展フォトコンテストの企画立案
 - ・ 会員、一般、学生の応募状況を検証し、応募増に向けた働きかけ・仕組みづくり
 - ・ 経費見直しを図りつつ、コンテスト企画の魅力アップ策立案を推進
2. 第75回「写真の日」記念講演の開催
 - ・ 日時：令和8年5月28日(木)(第72回全国展フォトコンテスト表彰式と同日開催)
 - ・ 会場：東京都美術館(東京・上野)
 - ・ 講師：山口規子氏・演題：「ドキュメンタリー写真の未来」
3. ポートレートギャラリーの運営
 - ① 日本写真会館建替えに伴う、新ギャラリーの構想具体化と準備促進
 - ② 新ギャラリーの運営の仕組み及び、オープニング企画の検討と具体化
4. スクールフォトビジネス対策の推進
 - ① 卒業アルバムの文化を継承していくための「学校写真フォーラム」事業を写館協・全日本学校アルバム印刷組合とともに継続的に推進
 - ② NPO法人「よみがえれ卒業アルバム」事業に対する協力

5. 写真普及、及び写真文化・芸術に関する調査・研究・表彰（継続実施）
 - ① 七五三・成人式等、日本の慣習・文化を紹介、写真館で残す写真の意義・素晴らしさを伝播
 - ② 写真に携わる一般人や高校生への写真普及事業の展開
 - ・ 写真普及を目的として写真愛好家や都道府県高等学校写真連盟等の写真活動を支援し、当協会賞を設定、優秀な作品の顕彰に寄与する
 - ③ 最新写真情報及び、歴史の調査・研究並びにその活用
 - ④ 写真作品・写真に関する書籍・情報の収集・保存
 - ⑤ 写真愛好家の育成拡大
 - ・ 地域社会における、写真愛好家の育成拡大のための写真教室開催の検討企画
6. 全国 10 ブロックへの講師派遣の推進
 - ・ 各ブロック主催の講習会や研修会等に講師を派遣又は派遣に関わる経費の援助
7. 下岡蓮杖翁の顕彰
 - ・ 令和 9 年 3 月 3 日(水) 染井霊園(東京・巣鴨)墓参

《広報部》

1. 文協の知名度・ステイタス向上のための活動推進（情報発信と受信窓口としての活動展開）
 - ・ 情報収集力、情報発信力の強化
 - ・ 会員相互の情報共有・交流の活性化
2. 出版関係
 - ① 機関誌「写真文化」の内容の充実
 - ・ 印刷特性を生かす良質写真の掲載、インターネット題材への積極的なリンクによる相乗効果、新連載企画「新しい写真文化」による、新規トレンドを継続的に紹介
 - ② 「写真文化」夏号(7 月発行)と併せて全国展入賞・入選全作品集を配付
 - ③ 「写真文化」での文協活動の報告 … 定時会員総会、理事会、各部報告等
 - ④ 全国会員からの情報収集体制の整備(ブロック・都道府県広報担当者との情報連携体制の構築)
3. IT 広報関係
 - ① ホームページの内容充実に向けた継続的な更新
 - ・ 「くらしと写真」をはじめ、主に一般顧客層にスタジオ撮影の魅力を訴求する内容の充実を図る
 - ② 会員名簿電子化の有効活用推進(付加価値追加)
 - ・ 会員電子メールによるネットワーク作りの推進 / 未収集県からのメールアドレス収集促進
 - ③ ニュースリリースの発行・配布（全国展フォトコンテスト開催告知、結果発表等）

《教育訓練部》

1. 第 63 回夏期写真大学講座の開催（8 月 5 日・水～7 日・金 ・東京工芸大学中野キャンパスにて）
 - (1) 基本方針
 - ① 写真館を運営していくうえで、必要な最低限の知識、技術を 3 日間で学ぶ
 - ② 一方的でなく、繰り返しを大切にした実技中心の、「出来るようにして帰す」講習会とする
 - ③ 総花的な内容とならないように、実務に必要な要素に集中し、確実なスキルアップにつなげる
 - ④ 技能検定への足掛かりとなる内容も織り交ぜる
 - (2) 運営方法
 - ・ 教育訓練部による共同指導体制により、受講生一人一人への細かなケアを確実なものとし、充実感のある時間を提供し、実利の多い講習を実施する
 - (3) コース設定
 - ・ 基礎コース、七五三/振袖 基本コース、七五三/振袖 スキル&売上アップコースの 3 コース
 - (4) アフターフォロー策
 - ・ 同講座終了後、受講生向けオンラインミーティングを開催する
2. 技能検定対策
 - ① 「写真職種・肖像写真デジタル作業(1・2 級)」
 - ・ 受検者減理由により隔年実施となり、次回実施は令和 9 年になるが、今年度においても受検者増の働きかけを行なう
 - ② 「写真職種・学校写真作業」の新設検討及び、働きかけ